

平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	Ⅲ-1	事業名	公立小学校校庭の芝生化事業			
所管	教育委員会事務	局	学校管理	部	施設課・学校環境整備室	

【事業内容】

保護者や地域住民、学校等で構成される団体が主体となり、大阪府の芝生化推進事業補助金を活用し、芝生化を実施するとともに、維持管理を行う。また、芝生化を推進するため、講習会の開催やリーフレットを活用して啓発を行う。

総コスト(千円) (平成23年度決算額) 30,905千円 (平成24年度予算額) 23,474千円

【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【今後の方向性】

<審査員>						<検討委員(参考意見)>							
今後の方向性	事業の方向性	拡充			1	1	今後の方向性	事業の方向性	拡充				
		現状維持			3				現状維持			1	
		縮小		2		1			縮小		4		
		廃止	8						廃止				
			ゼロ	縮小	現状維持	拡大				ゼロ	縮小	現状維持	拡大
公金投入の方向性(人件費含む)						公金投入の方向性(人件費含む)							

【改善策について】(複数回答あり)

		審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	5	5
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	4	3
	サービス受給者の自己負担について見直しが必要	3	1
	市以外からの財源の確保を図るべき	2	0
	担い手のあり方について見直しが必要	3	0
	その他	0	0
〔「その他」の具体的記述〕			

【具体的な改善策提案】

- ・地域やPTAからの負担について見直しが必要。
- ・環境学習としての芝生化事業であれば、面積を縮小して(前庭、中庭程度)全校に実施すべき。
- ・難しいと思いますが、社会メカニズムを踏まえて可能な範囲で「因果関係」「定性&定量的分析」「メリット・デメリット」を全て提示すべき。
- ・目標設定自体が積み上げになっていないので、今後は詳細に積み上げて行くべき。その事が、目標達成の為に何をすべきかという課題の洗い出しにも繋がるのではないかと。地域の理解、協力の方策をもっと真剣に具体的に考える姿勢が必要。
- ・それほど芝生化を必要とは思わない。縮小の方向で検討すべきと考える。ボランティアや維持管理費次第では状況を見て廃止とすべきとも考える。
- ・事業の推進ありきが先行しており、効果の把握、本当にニーズの把握なしに予算を使ってはならない。真の費用対効果を望む。
- ・友人その他数人の父兄に意見を伺ったが、芝生を植える事に対し賛成意見を聴く事ができなかった。理由の大半は芝の手入れが大変で取り入れた学校でも廃止している所がある。理由は野球ができない、害虫駆除、雑草抜き等が大変。

平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	Ⅲ-1	事業名	公立小学校校庭の芝生化事業			
所管	教育委員会事務	局	学校管理	部	施設課・学校環境整備室	

【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【具体的な改善策提案】

- ・小学校の段階では芝生化自体必要がないと思う。どちらかという中学校の方を芝生化した方が、クラブ活動等で十分利用者が増加し、有効に活用できると思います。
- ・他がやる(芝生化)からやるのではなく、堺市としてのもっと掘り下げたプランが欲しい。
- ・緑豊かな学校区にあっては不要。市街地には必要な学校があるかも。専門家の調査が必要であり、私見としてどうしても必要か疑問である。
- ・緑化は良いと考えるが、やって5、6年経たないと効果は判らないと思う。定量的な効果を把握できていないのは、市の担当の調査方法が悪い。それを進めれば、コミュニティへの説明材料として活用できる(卒業生意見等)。
- ・H27年度全校の目標が達成できない状況なので、目標達成年度の見直しと、少子超高齢社会における今後も進むであろう小学校の統廃合計画と併せて計画の練り直しが必要だと思います。
- ・私事ですが、福岡県の郡部の小学校、中学校で育ちましたが小中学校共にグラウンドが芝で育ち、管理は学生が雑草を抜き、教育の一貫としてやってきた。
- ・テストケースの学校を作り全面芝生化により子どもの変化を数年リサーチして、事業拡大したい。数年の間での事業でないように思う。
- ・維持管理費補助は1校で25万でなく、1㎡いくらかの方が実態に合っている。H27年に94校全実施は目標破綻している。もっと長期計画に組み直すべき。
- ・補助金をあてにしない事業を行うべき。

【廃止の理由】(複数回答あり)

審査員

検討委員

行政で行う役割は終了している(事業開始当初の目的は既に達成されている)

0

0

時代の変化に伴う課題やニーズ(需要)を反映していない

2

0

事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい

0

0

他の事業との結合・再編を検討すべき

0

0

サービス受給者の自助努力に任せるべき(税金を投入する必要はない)

1

0

効果がない(低い)

5

0

その他

3

0

〔「その他」の具体的記述〕

- ・H27年までに94校全校の緑化をする為の策が見えない。本来地域協力が前提で市民の負担になる。子どもの意見が反映されていない。
- ・維持管理は今業者が行っているのが良好であるが、ボランティアや学校保護者だけでは今後維持管理は大変難しく、維持できなくなり、税金が無駄使いになると思う。
- ・まず少数校で実施し、効果の有用性を確認してから行う事が肝要。

【その他意見等】(自由記入欄に記載された意見)

- ・小学校は地域の中心であり、地域コミュニティへの効果をあげているが、この事業でなくても他の施策との抱き合わせで、地域コミュニティとの協働を考えるべきである。
- ・条件が揃ったところの学校には効果はあるだろうが、出来ない小学校の課題は何かの検証がいる。
- ・国の方針や大阪府が推進しているので、その流れで継続しているとしか思えない。実施していない学校(地域)の要望が多いとは思えない。
- ・この事業のテーマをはじめて見た時、まず最初に「なぜ小学校に芝生？」と疑問が湧いた。本日の検討委員の方から出てきたご意見で、同感できるものはいくつかあった。実施している学校も年数が浅いので、効果についてはまだはっきりしたものは出せないと思う。効果は長期にわたって見ていかなければいけないと思うが、私は芝生という維持管理に相当の手間ひまかかる事をしてまでの効果については疑問。
- ・芝生化が教育に本当に必要なのか？理由がはっきりしない。まず必要性をまとめては。(今まで行った事業から)